



和宏のほっとかない!! NEWS vol.57

継続こそ力なり



八潮市議会議員 あさだ和宏 (46歳)

無所属・自民クラブ

●1968年 3月28日●八潮市に生まれる(現在46歳)●市立大瀬小(小1)大原中(二中)を卒業●私立成立学園(商業科)を卒業●専修大学 法学部法律学科卒業(40歳を機に大学へ入学。働きながら4年間通学し、2012年卒業)

★01年9月(33歳)1229票12位当選 ★05年9月(37歳)1415票9位当選(2期目)

★09年9月(41歳)1733票3位当選(3期目) ★13年9月(45歳)2164票3位当選(4期目)

【市議会での所属】副議長・議会報編集委員会委員・総務文教常任委員会委員

【発行者】

〒340-0821 埼玉県八潮市伊勢野 306 TEL.090-3402-6388(本人直通)

Find us on Facebook

あさだ和宏を育てる会

http://challenge-kazuhiro.com/ E-mail: asayan@biscuit.ocn.ne.jp

あさだ和宏

検索

2015年 謹んで新春のご挨拶を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。皆様おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

『地方創生』元年を迎えて…

昨年の11月21日、国会において、地方創生の理念等を定めた「まち・ひと・しごと創生法案」と、活性化に取り組む地方自治体を国が一体的に支援する「地域再生法の一部を改正する法案」の地方創生関連2法案が、可決・成立しました。

我が国は、世界に先駆けて人口減少・超高齢社会を迎えており、今後、政府としては、人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する国民の危機意識の共有を図るとともに、50年後に1億人程度の人口維持を目指す「長期ビジョン」と、人口減少を克服し将来にわたって活力ある日本社会を実現するための5か年の計画を示す「総合戦略」の策定が急務となっています。

幸いにも、本市は、つくばエクスプレス開業後、急速に人口が増加、現在も微増が続いています。

しかし、日本全体が人口減少を迎えた今日、このような状態が何時までも続くとは限りません。

成立したばかりの法案なので、現時点で地方自治体への詳しい説明等は行われておらず、本市でも本格的な取り組み等は進んでいませんが、今後は積極的に情報を収集し、本市の地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定に取り組むことが必要と私は考えます。

いつの時代も日本を変えてきたのは「地方」です。地方創生においても、地方が自ら考え、責任を持って取り組むことが重要であり、議会としてもこのような時代背景を考慮し、様々な政策提言をする必要があると私は考えます。今年一年も、「初心」を忘れることなく、『新化』をキーワードに、飛躍する年になるように活動してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

八潮市議会議員 朝田和宏



～平成27年『議員を囲む集い』開催のご案内～

○日 時 2月 28日(土曜日) 開会 午後6時 (受付5時30分～)

○場 所 八潮市商工会 (2階) 大会議室

※例年と会場が変更となっていますのでご注意ください。

○会 費 2,000円 (飲食代)

※当日は、酒類の用意もありますので、飲酒される方のお車でのご来場はご遠慮下さい。

※参加ご希望の皆様は、2月20日(金)までに、返信用のハガキにご記入の上、ご連絡をお願い致します。

また、電話でも受け付けておりますのでよろしくお願い致します。



朝田まで
090-3402-6388

祝 大原中学校・女子ハンドボール部「全国大会」出場！
先日開催された埼玉県代表決定戦で、見事勝利。3月、富山県氷見市で開催される全国大会に埼玉県代表として出場します。(応援に行かないと！)

政策提言から実現へ

○骨髓ドナー助成制度がスタート！

昨年の9月議会の一般質問で取り上げた「骨髓ドナー助成制度」この12月議会の議案として上程、可決。本市でも、本年1月1日より、助成制度がスタートしました。

【対象者】

- (1) 骨髓などの提供を完了し、これを証明する書類の交付を受けた方
- (2) 骨髓などを提供した日において、八潮市に住民登録がある方
- (3) 所属する企業または団体などにドナー休暇制度がない方若しくはドナー休暇制度の対象とならない方
- (4) 他の自治体が実施する骨髓などの提供に係る助成金などの交付を受けていない方

【助成額】

次に掲げる骨髓などの提供に係る通院、入院などの日数に2万円を乗じて得た額とし、1回の提供につき14万円を限度とします。

- (1) 健康診断のための通院
- (2) 自己血貯血のための通院
- (3) 骨髓などの採取のための入院
- (4) その他骨髓などの提供に関し、骨髓バンクが必要と認める通院、入院および面接

※骨髓などの採取術およびこれに関連した医療処置によって生じた健康被害のための通院および入院を除きます。

◎詳しくは、八潮市立保健センター健康増進課(保健センター)

☎995-3381

骨髓バンクとは？

骨髓は血液をつくる工場で、そこにはゼリー状の骨髓液が詰まっています。骨髓に異常が起きると、白血病や再生不良性貧血などの血液の病気になります。こうした病気に有効な治療法が骨髓移植、末梢血幹細胞移植です。

●移植の条件

移植には患者さんと提供者(ドナー)のHLA(白血球の型)が適合しなければなりません。

●HLA 適合の確率

兄弟姉妹間で4人に1人の確率で一致し、血縁関係でない数百万から数万人に一人の確率でしか一致しません。

●だから骨髓バンク

骨髓バンクは移植を希望しても血縁者に適合ドナーがいない患者さんを救うために生まれました。患者さんと適合ドナーをつなぐ命の架け橋が骨髓バンクです。

ドナーが決まるまで

1. 登録

登録希望者の腕から2mlを採血しHLA型(白血球の型)を調べ、コンピュータに登録。定期的に患者さんと適合検索をします。

2. ドナー候補

患者さんと適合すると、ドナー候補に選ばれた連絡と、本人の意思、家族の意向、健康状態や日程などについてのアンケートが届きます。

3. 確認検査

コーディネーターから提供の詳しい説明と医師が医学的に説明と問診をします。提供意思に変わりないと、健康状態などの確認のため採血をします。

4. 最終同意

ドナーに選ばれるとご家族を交えて最終同意書にサイン。その後、採取・移植日程が決まります。

○『八潮市公共施設マネジメント白書』が作成されました。

近年、全国の自治体で課題となっている公共施設の維持管理問題、本市でも、1970年代に建設された施設等の維持管理(修繕等)が課題となっていました。

私も今から5年前(平成22年)3月議会でこの問題を指摘し、早急に「公共施設白書」を作る必要があると提言をしていました。

この件に関し、大山市長の選挙公約でもあることから、今回、「八潮市公共施設マネジメント白書」基本方針(案)が作成され、現在、市民の皆様にご公表、パブリックコメント(意見募集)を行っています。(1月15日(木)～2月13日(金))

※白書の内容を一部抜粋します。

- 公共施設とインフラ資産の全てについて、今後40年間の更新費用総額を約1678.8億円、年間更新費用を約42.2億円と算出
- このうち、公共施設については、今後40年間の更新費用総額が約766.7億円。大規模改修費用については、今後約10年間にわたり毎年20億円～35億円程度が必要。2026年からは建替え費用が生じ、2038年～2040年には、建替え費用のピークを迎え、毎年約40億円～50億円程度が必要。
- インフラ資産については、今後40年間の更新費用総額が約921.1億円。このうち、一般会計に区分されるものが約372.4億円、上水道事業会計に区分されるものが約423.8億円、下水道事業特別会計に区分されるものが約128.3億円。
- 上記の結果として、公共施設の更新費用(年間約42.2億円)だけで年間の普通建設事業費(概ね30～40億円で推移)の上限を超える。今後、公共施設を適切に維持管理していくためには、財政負担も勘案した適切な対応方針を決める意思決定の仕組みを検討することが必要。

◎詳しくは、市ホームページをご覧ください。



お知らせ

文化スポーツセンターに関して...



現在、文化スポーツセンターの予約(4月以降)が『休止』となっており、この件に関して、市民の方から私の元にも相談等が数件寄せられています。

予約を受け付けていない理由は、昨年、文化スポーツセンターの耐震診断を実施し、間もなく、その結果が判明しますが、担当者の話では、「良くない数値…」とのこと。今後どのような方向性になるのか現時点では不明であり、詳細が判明した際には、私のホームページ(ブログ)等でお知らせします。

今年8月、つくばエクスプレス開業「10周年」を迎えます。
八潮駅利用者も年々増加しています。今後も駅を利用される皆さんが、より利用しやすく、より便利になるように要望活動を続けていきたいと考えています。

○公園のトイレ、照明灯が設置されました

以前から、伊勢野地域や大瀬小周辺の皆様から要望が多かった、公園のトイレの設置及び公園内の照明灯の設置が完了しました。新たに整備された「伊勢野やすらぎ公園」「大瀬北公園」(共に3月中旬開園予定)内にトイレが設置され、「伊勢野わかば公園」内に照明灯が設置されました。



伊勢野わかば公園



伊勢野やすらぎ公園(3月中旬開園予定)



大瀬北公園(3月中旬開園予定)

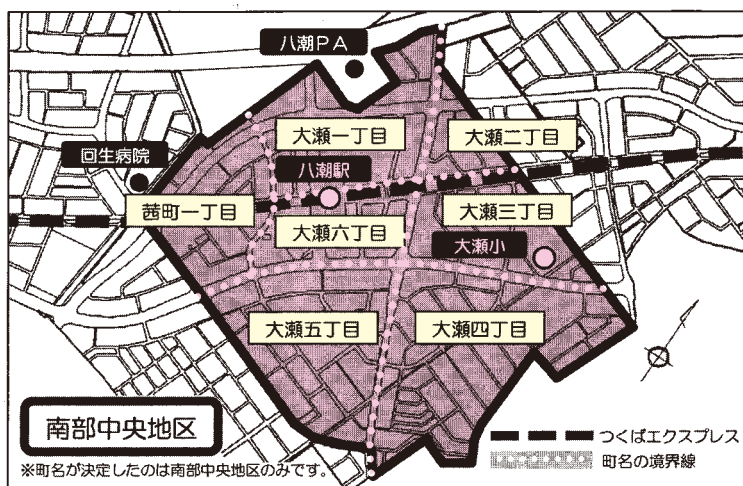
お知らせ

八潮南部中央地区の地名が変更となります

変更日：1月31日(土)

八潮市南部中央地区は、独立行政法人都市再生機構(UR)が施行する草加都市計画事業中央八潮南部中央八潮一体型特定土地地区画整理事業により、これまで市街地の整備が行われてきました。

この事業の換地処分が行われると、事業区内の町名および地番が変更され、併せて住所が変更されます。



南部中央地区

※町名が決定したのは南部中央地区のみです。

《公共施設の住所》

施設名	住 所
駅前出張所 八潮メセナ・アネックス (市民文化会館駅前分館) 駅前保育所	大瀬一丁目1番地1 (旧大字大瀬795番地1)
大瀬小学校 おおぜ学童保育所	大瀬三丁目9番地1 (旧大字大瀬530番地1)

《住所表示及び郵便番号》

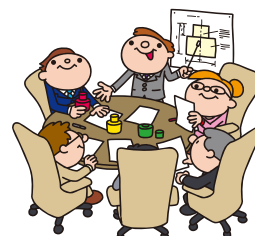
対象区域	新町名	郵便番号
大字大瀬 大字伊勢野 大字古新田	大瀬一丁目 大瀬二丁目 大瀬三丁目 大瀬四丁目 大瀬五丁目 大瀬六丁目	340-0822
	茜町一丁目	340-0826

○平成26年12月議会が開催されました。

さる11月28日～12月17日の20日間、八潮市議会12月定例議会が開催され、補正予算を含む全ての議案が原案通り可決、承認されました。

今議会では、諸般の事情により、森下議長に代わり、議会の開会日、総括質疑の両日、議長代理として議長役を務めさせていただきました。

突然の出来事で、初の議長席に座ることとなり、多少の戸惑いと緊張感がありましたが、議会運営等、また新たな立場で貴重な経験をさせていただきました。



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
3/1	2 本議会 開会(10時)	3 議案調査	4	5	6	7
8	9 議案調査	10 本会議 (総括質疑)	11 委員会 (総務文教)	12 委員会 (建設水道)	13	14
15	16 委員会 (福祉環境)	17 本会議 (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (一般質問)	20 本会議 (最終日)	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月議会の日程

※日程については開会日において議決後正式に決定します。



和宏のあしあと…(予定を含む)



平成26年 12月

7日	八潮市農業祭(開会式挨拶)
8日	本会議(総括質疑)
9日	委員会(総務・文教常任委員会)
11日	委員会(福祉・環境常任委員会)
12日	本会議(一般質問) 潮止中学校勉強合宿訪問
14日	八潮市グラウンドゴルフ協会忘年会 八潮市ソフトボール連盟納会 八潮市野球連盟納会
15日	本会議(一般質問)
16日	本会議(一般質問)
17日	本会議(最終日)・議会報編集委員会
18日	議長と打ち合わせ
22日	日程調整(議長室) 消防広域化に関する打ち合わせ(消防署) 八潮市農業委員会忘年会
24日	埼玉県東南部正副議長会研修(松伏町)
25日	総務文教常任委員会行政視察先打ち合わせ



平成27年 1月

4日	古新田・東町会新年会
5日	日程調整(議長室)大山市長へ新年挨拶(応接室)
7日	八潮市長・大山しのぶ連合後援会新年会
10日	八潮市商工会賀詞交歓会
13日	日程調整(議長室)
14日	熊本県人吉市行政視察対応(委員会室)
15日	草加・八潮工業会新年会 八潮市老人クラブ連合会新年会
16日	八潮市交通安全母の会新年会
17日	八潮市民生委員・児童委員新年会
18日	伊勢野福寿会新年会 三ツ林裕巳後援会賀詞交歓会
19日	日程調整(議長室)・公共施設に関する勉強会(戸田市)
21日	八潮市防火安全協会新年会
23日	八潮市農業委員会新年会 八潮市交通安全指導員連絡協議会新年会
24日	埼玉県接骨師会草加八潮支部新年会
26日	日程調整(議長室) 議会報編集委員会 公明党埼玉県本部新春賀詞交歓会
27日	八潮市鉢の会表彰式
29日	八潮市表彰規定に基づく表彰式

和宏のひとりごと



話します



聴きます



見ます



『3つの目』

今回も、『和宏のほっとかないNEWS』を最後までお読みいただき有難うございました。
お読みになってのご感想やご意見等ございましたら、メール・手紙・電話等でお寄せいただけると大変嬉しい限りです。
さて、2015年(末年)がスタートし、早1ヶ月が経過しようとしていますが、皆さんも、今年はどんな一年になるのか大変興味があると思います。
昨今、時代の流れ、変化が早く、予測がつかない事も多くあると思われますが、私自身は、今年も「3つの目」を大切にしたいと思っています。

1つ目の目は「鳥の目」

大所高所から広い視野でもって物事全体を見つめていくことによって、マクロ すなわち大局観を把握する目

2つ目の目は「虫の目」

ミクロつまり、足元を見つめ直すこと。現場・現物・現実という「三現主義」でもって、現場を中心として現物と現実に向き合い、細部から見つめ直す目

そして、最後3つ目の目は「魚の目」

これは、トレンド(傾向)つまり、時代の流れを見極める目

時代の変化を見逃さず、ピンチもチャンスとして生かすためにも、非常に重要な視点です。

今年も微妙な時代の変化を見逃さないためにも忘れてはならない視点「目」を大切にし、「話します」「聴きます」「見ます」を忘れずに活動してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。